

ほっけもん

226 ゴルフ



今月の表紙

『春の香りに引き寄せられて』

4月3日に開催された持留さくらさくらまつりの取材中、桜を撮ろうと木の下へ。すると多くのハチが桜の花に引き寄せられていました。「今だ!」と思いパシャリ。

学生や新社会人の方は新生活が始まり忙しくしていることでしょう。息抜きに公園などに出かけてみたら新しい発見があるかもしれません。

薩摩郷白 兼題『盃』

盃く舐めつ 代えが欲しそな 花嫁御

(唱) 可愛じ顔をしつ 一斗瓶じやる 諸木小春

婆と二人 今夜も盃が行つ戻い

(唱) 元気の素ち 毎晩焼酎が守い 西ノ園ひらり

仏壇で 盃じや足らんち 飲ん兵爺

(唱) 爺さんごめんち コップい代えつ 北村虎王

盃く握つ お屠蘇を注げち 催促つ孫

(唱) 俺い似たかよち 酌くすい爺さま 二見愚楽満

下手箸戦 盃かはなさんじ ち酔くろつ

(唱) 飲もかい思つ 爺は上手し負けつ 満石うらら

晩酌は 女房はコップで 亭主は盃

(唱) 世帯繰ゆ考げつ 亭主なちび 上窪小絵

大崎短歌会 兼題『花』

うぐいすの 声まだ聞かぬ 梅の春

逝きたまうとや 律子歌姫 上南紀子

降りつもる 雪にもめげず うすべにの

花を掲ぐる みかどなでしこ 大和てるみ

ほつぽつと 梅咲き初むる 頃生れし

吾はも凜と あるべきものを 原田葉子

如月の 澄みし光を 浴びながら

咲き始めけり ああいわつつじ 長重悦子

家の回り 百本近い やぶ椿

こぼれし花は 庭を朱に染む 坂元 つる子

大崎俳句会

子鶏の近き枝から又近く

節分に踏まれし邪鬼の面ゆがむ 三浦倫子

縁起良し琴奨菊の初優勝

折田スズ

梅咲きて番ひ雀の鳴きにけり

坂元つる子

切り干しもハンガー連ね階仕立

宮脇洋子

長寿園を囲みて咲きぬ寒桜

宮下のし

亡き夫へ嫁が供ゆる愛のチョコ

内村美恵子

人権啓発シリーズ

～人権とは～

私たち一人ひとりが、安心して生きる権利・自分で自由に考える権利・仕事を自由に選んで働く権利・教育を受ける権利や裁判を受ける権利など、人間として幸せに生きていくために生まれながらにして持っている基本的な権利です。

一人ひとりの人間は、それぞれ異なった多様な価値を持っているのであり、そのような一人ひとりの固有の価値を認め合うことが大切です。人は、みな同じだから平等ではなく、人はみな違うからこそ平等でなければなりません。